



地域の学校としてのコミュニティ・スクール

大庭小学校は今年150周年を迎えます。日本の公立小学校は、地域の活動の場として、コミュニティの中心として機能してきたといわれます。欧米でいえば、地域の中心として教会があるようにです。今でも地域の運動会の舞台となり、所によっては選挙会場となります。地域から小学校がなくなると、寂しくなるというもうなずける話です。

地域の学校で学んだ子どもが将来地域を支える大人となります。その意味で地域の学校のことを考えることは、地域の未来を考えることと同じです。ですが、従前の学校教育では学校が子どもの育成の役割を過分に担ってきました。学校に子どもたちが通っている時間は生活全体の20%以下※1であるのにです。考え方を変えていく必要があります。

まずは、地域の子どもの育成は、家庭だけの役割ではなく、学校だけの役割ではなく、地域全体で行うものということを確認したいと思います。そのうえで、地域の学校の意味を確認する上でのキーワードがコミュニティ・スクールです。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。〈文部科学省 HP より〉

2年生と地域の方との種もみまき



具体的には、地域住民、保護者等の代表者として学校運営協議会委員の方に「学校運営への支援」に関する協議の場を設定し、右の学校経営の方針※2その他についてご協議いただきます。協議された内容について、地域・保護者のみなさまにお知らせし、それを踏まえた支援活動を地域・保護者をお願いするという仕組みです。今年度の第1回運営協議会は5月29日です。委員の一覧は次の通りです。いつも貴重なご意見をいただきます。ありがとうございます。

このコミュニティ・スクールの活動をさらに進めたいと思い、学校運営協議会長・PTA会長・校長の連名で裏面のように「大庭小学校サポーター登録」をお願いすることとしました。実際に学校の活動にかかわっていただき、その中でよりよくしていくためのご意見を頂けたらと考えております。ぜひ、ご登録ください。ボランティアではなく、サポーターとしたのは、学校にかかわるすべての方に当事者となっていただきたいからです。

教職員は風の人、地域の方は土の人といわれます。教職員は長くとも7年、風のように異動していきますが、地域の方は土のようにその地域を支えていきます。よりよい大庭小学校、よりよい地域のため、どうぞ、お力お貸しください。

※1 1日7時間×200日を24時間×365日で割ると16%程度です。

※2 学校経営の重点についてはPTA総会でご紹介します。

令和6年度大庭小学校運営協議会委員一覧 敬称略

	大庭地区自治会長
	大庭地区青少年育成協議会長
	大庭公民館長
	大庭地区主任児童委員
	PTA 会長
	PTA 副会長
	地域学校コーディネーター
	学識経験者(島根県立大学)